

みんなて  
出かけよう



上十三・十和田湖広域定住自立圏圏域のイベント情報をお届けします♪

### 三沢市

#### 三沢まつり

- ▶とき 8月19日(金)～8月21日(日)  
※8月18日(木)は前夜祭
- ▶ところ 中央商店街区
- 問三沢市商工会 ☎③2175



### 野辺地町

#### 2016のへじ祇園まつり

- ▶とき 8月18日(木)～8月21日(日)
- ▶ところ 野辺地町内
- 問(一財)野辺地町観光協会  
☎0175④9555



### 七戸町

#### 模型のタミヤがやってきた展

- ▶とき 8月6日(土)～9月4日(日)  
午前10時～午後5時30分
- ▶ところ 鷹山宇一記念美術館
- ▶入館料 一般・大学生850円、中・高校生500円、小学生300円
- 問鷹山宇一記念美術館 ☎②5858



### 横浜町

#### 2016横浜町ふるさとのまつり

- ▶とき 8月14日(日)
- ▶ところ 三保野公園ほか
- 問横浜町産業振興課  
☎0175⑧2111

### 東北町

#### テクノミュージックフェスティバル 東北 techno music festival 音夜祭 2016

- ▶とき 8月20日(土)  
午後2時(正午開場)
- ▶ところ 東北町清水目オートキャンプ場
- 問上十三若者ネットワーク9根(原田) ☎090-1855-6199



十和田八幡平国立公園十和田八甲田地域指定80周年

## 受け継がれる歴史 十和田湖・八甲田 vol.2



### 「十和田とおおまちけいげつ 大町桂月」

右の写真は、大町桂月が初めて十和田を清遊した時の記念写真です。大町桂月の紀行文と太田吉司の日記から明治41年9月6日朝、安野旅館(現稲生町)で撮影されたものと分かれます。



#### 写真上段左から

- 太田吉司(沢田)
- 大町桂月(東京)
- 鳥谷部春汀(五戸町)
- 江渡省三(相坂)

#### 写真中段

- 三浦一雄(後の農林大臣)

#### 写真下段左から

- 平福百穂(秋田県角館)
- 三浦道太郎(五戸町)

太田吉司は、風光明媚な十和田を世に紹介したいと中村理蔵(切田)に相談。理蔵の義兄江渡省三が鳥谷部春汀に依頼しました。

依頼を受けた春汀は、自身が編集長を務める博文館に在籍する大町桂月に文章、絵は平福百穂の筆を持つて十和田を紹介すべきと考えて両氏を誘い共に帰郷しました。

上野から青森まで列車で26時間を要した頃のこと、明治41年8月27日に現八戸駅に到着。五戸町で講演会などの後、新郷村を通り十和田湖畔宇樽部まで歩いていきます。その時通った道は、宇樽部開拓の祖・三浦泉八が開削した道で、案内者は、泉八の長男三浦道太郎でした。

宇樽部では泉八の家を宿とし、十和田湖を見尽くそうと、徒歩や舟で予定の日数を越えて滞在しました。

葛温泉で桂月一行を待っていた吉司ですが、迎えに向き奥入瀬溪流で合流。翌日は、吉司の案内で「松見の滝」探勝を果たしています。そして、三本木へ。三本木でも講演会などで2泊した後、出発の朝、宿泊していた安野旅館で写したのがこの写真です。

桂月は帰京後、紀行文で十和田を紹介し全国に感動を与えました。

【文責・大町桂月を語る会】